キャラクター名
東雲 楊藍

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	研究者	カヴァー	研究者
オプショナル		年齢	26	性別	女
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	46 %
出自	姉妹	経験	海外生活	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	4	1	0			5
社会	0	0	0	1		1

HP	29
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ	4		情報：学問	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ｲﾉﾍﾞｰﾀｰ：強制起動者/ｵｰﾊﾞｰﾕｰｻﾞｰ	
イノベーター：幽霊タクシー	
イノベーター：退化の書	
コーリングシステム	
ウィンドスカーフ	
絆の制服	
エージェンシー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
申し子	P	N		
ISチルドレン	P 有為	N 不安		
宵町祭羽	P 信頼	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
虚：氷熱の軍団	5	10+2	ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ				120%	
効果：ラウンド間攻撃力+[Lv *4]　シナリオ1回								
虹：マスターワーク	4	3+2	ﾏｲﾅｰ				ﾋﾟｭｱ	
効果：使用時技能を選択　シーン間達成値+[Lv*3]　シーン1回　シナリオ3回								
ハンティングスタイル	1	1	ﾏｲﾅｰ					
効果：エンゲージ無視移動　シーンLv回　ボナでレベル上がらない								
コンセ：ウロボロス	2	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：								
破滅の奔流	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	視界			80%	
効果：攻+[Lv *4]の射撃攻撃　同エン不可								
リミットブレイク	2	4	ﾒｼﾞｬｰ				D	
効果：%エフェクトを制限無視で使用　シナリオLv回								
混沌の崩壊	1	5	ｵｰﾄ				100%	
効果：ダメロ直前　Lv個までの《原初の●》消費　ダメ+[消費数*2]D								
ディテクトエフェクト	★							
効果：その場所で使われたエフェクトを特定できる								
サバイバビリティ	★							
効果：少ない食料・休息でも長時間活動可能								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「わたしはわたしの作品を無意味に使い潰されることに腹が立っただけ。それ以外の理由なんてないわ」
「必要な休息は取れているから構わないで、時間の無駄よ」
「わたしをただの研究者だなんて甘く見ないことね」

しののめ ようらん

FH時代のCN："深化の檻"　アウクソー

出自・経歴：
それなりに裕福な一般家庭の出。
幼い頃から知的好奇心が強く、家に篭ってジャンル問わずさまざまな本を読み漁っていた。周囲と比べて大人びていたことや本人の性格もあり、友達は皆無であったが楊藍はそれでいいと考えている。
自分が普通と異なることもはやくから理解しており、オーヴァードの力を隠しつつもそれが何であるかを独自に調べていた。
大学一年の夏を迎える頃、とあるFHエージェントと遭遇したことをきっかけに大学を中退。日本を飛び出して世界各地を転々としながらレネゲイドに関する研究を行う生活をしている折に研究セルからスカウトを受け、所属することとなった。

パーソナリティ：
唯我独尊・傲岸不遜を体現したような人物。興味を惹く対象以外はどうでもよく、やる気の有無が非常にわかりやすい。
自身を含むオーヴァードを"研究対象"と言って憚らず、ISチルドレンのことも"作品"や"あれ"など物扱いする言葉が目立つが内心では気にかけているのか邪険に扱うことはなく、楊藍の方から話しかけることもそう珍しくはない。とはいえ主な話題は体調やレネゲイドの状態確認だが…。